

Rekitomo Newsletter

【報告】

記念すべき 20 回！！！！

「第 20 回マイ・コレクション・ワールド」

平成 16 年 3 月 6 日、「第 1 回マイ・コレクション・ワールド」が開幕。その後毎年のように開催し、約 20 年にわたってその歴史を紡いできました。まさか本当にこれまでに続くとは…。いや、ここまで続くべきだったのだと思います。今回の出品内容の詳細は次号に譲りたいと思いますが、ここで少し 20 回の記録をまとめてみましょう（チラシの記載を有言実行に）。



第 20 回マイ・コレクション・ワールド会場

出品件数：287 件

出品者数：148 人と 8 団体

出品回数歴：20 回出品＝1 名、19 回出品＝1 名、15 回出品＝1 名、

14 回出品＝1 団体、7 回出品＝1 名、5 回出品＝1 名、4 回出品＝8 名と 1 団体

観覧者数合計（19 回まで）：40,886 人 最多＝第 5 回・5,396 人

開催日数合計（20 回まで）：500 日開場



20 回のチラシコレクションも出品されました

ただし、さまざまな条件が加わります。と言うのも、団体と個人の線引きが非常に困難な場合があります。家族は団体ではなく 1 人とした場合があります。いずれにしても何人（何団体）何件と正確に言いづらいくのです。と言いつつ、300 件近く、1 回平均 14 件ほどで 20 回も開催してきたというのは見事だと思います。

【2024 年 3 月退職者の言葉】

西田泰民（平成 9 年度の建設室時代から 27 年間勤務）

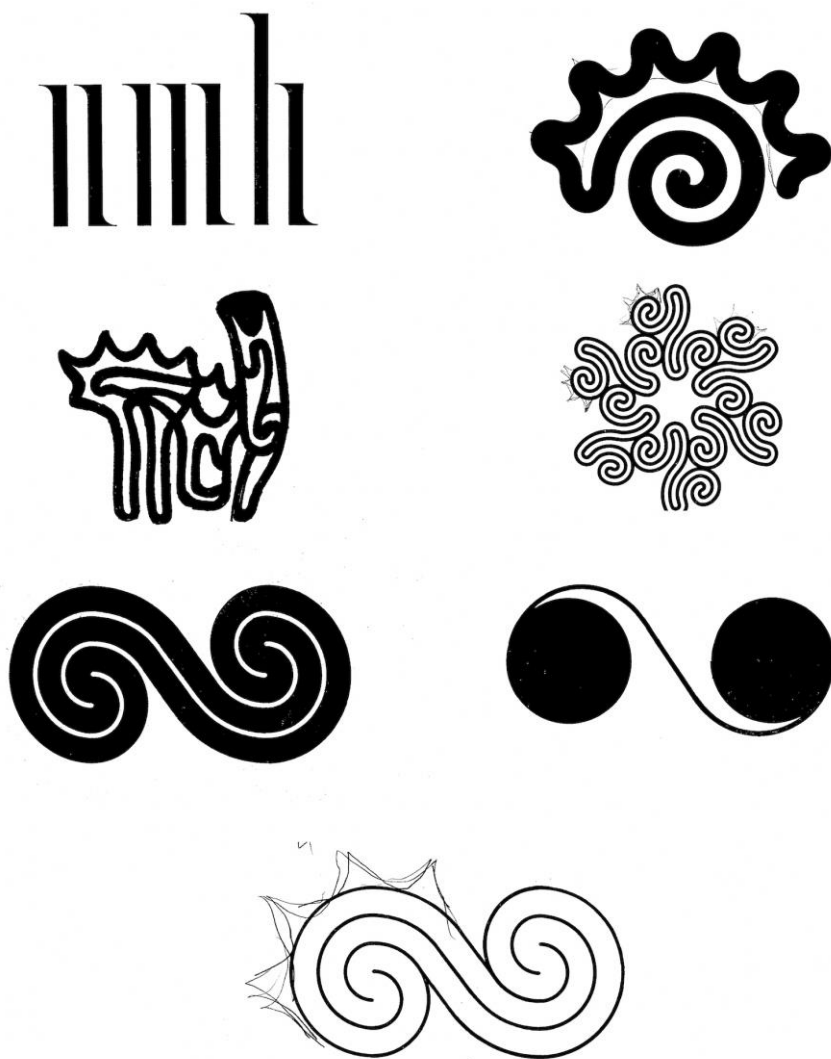
このたび、新潟県立歴史博物館を卒業することとなりました。博物館の勤務では、この分野が専門だからなどと言っていられないと事前に聞いておりましたが、実際に思いも寄らなかった資料に出会い、新たに勉強することが多くありました。そのおかげでたまりに溜まったものの片付けに難儀しています。今後、館から離れてしまうわけではなく、ボランティアの形でサポートをしたり、また今度は会員として友の会活動にも参加したいと考えております。身辺整理中に出てきた開館準備時のコピーがあり、ちょうど良い機会だと思いますので、ここで入会の御挨拶代わりに御紹介します。

博物館の刊行物や封筒に使用されているロゴマークはグラフィックデザイナーで長岡造形大学教授であった神田昭夫（1935-2003）さんに作成していただいたものです。神田さんは新

潟の「N」、火炎土器の意匠、雪の結晶などをヒントに数種類の図案を作られて、小林達雄館長の意見を求められました。その図案の中で、

「N」にも見える逆S字を横にしたデザインに4, 5個の小突起をつけたらどうかと、小林館長が鉛筆で書き込み、それから完成させたのが現在のマークです。

もう一つ、気づかれる方は少ないと思いますが、「館」の漢字の右下、本来のゴシック体では下に突き出る部分があるのですが、平らになっているのが、正式なロゴの特徴です。博物館の印刷物をよく観察してみてください。なお、この図案の段階では、まだ字体には手が加えられていません。



新潟県立歴史博物館

山本哲也（平成13年度から23年間勤務、平成26～29年度を除き19年間にわたり友の会の事務局を担当）

図らずも今年度をもって退職することとなりました。正直なところ、今なお気持ちの整理がついていない状況です。

思えば23年間、いろんな経験をさせていただきました。

新潟県中越大地震は経験したくてもものではありませんが、それを機に始めることとなった復興支援展覧会や、関連映画の上映など震災の記憶を薄れさせないための活動は貴重な財産です。当初鈴木重彦会長が放った「山本さん！山古志の人達を元気づける展覧会をやろうよ！」との掛け声があったからこそ叶った活動であり、復興のために博物館がその役割を十二分に果たせることを証明したと思っています。そしてそれは友の会、即ち市民のチカラの賜物だったのです。

そして、20回に到達した「マイ・コレクション・ワールド」。毎度出品させていただき、まさに展覧会を私物化してきました。出品内容は以下のとおり。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 第1回 音楽グッズ | 第11回 プラネタリウムの歴史 |
| 第2回 リコーダー | 第12回 東京科学博物館 |
| 第3回 映画のチラシ | 第13回 動物園の歴史 |
| 第4回 上越新幹線記念グッズ | 第14回 新潟県の水族館の歴史 |
| 第5回 1964 新潟国体グッズ | 第15回 山本家の家紋（浮線蝶） |
| 第6回 甲子園（駒大苫小牧・日本文理） | 第16回 博物館学コレクション |
| 第7回 博物館関連記念乗車券 | 第17回 山本五十六関連新聞 |
| 第8回 博物館のうchw | 第18回 新潟県の博覧会 |
| 第9回 「博物館」という言葉の歴史 | 第19回 プラネタリウム100周年 |
| 第10回 「展示」という言葉の歴史 | 第20回 復興記念館 |

また、第19回、第20回においては、戸籍名（武井哲也）でも出品しました（第19回＝台所で博物館、第20回＝博物館がデザインされた宝くじ）。まさに好き勝手し放題。でも、見る方に少しはコレクションの愉しみを示せたのではないかと考えています。いずれにしても、私自身が本当に楽しませていただき、なんとも有難かったです。

さて、このあとのことですが、4月から國學院大學の博物館学研究室に在籍します。そこで博物館学をさらに追究できればと思っています。その際、新潟県立歴史博物館や当友の会は、これまでも事例研究の重要な素材でありましたが、これからもその対象にさせていただきたいと思っています。そのためには、ただ遠くから見るだけでなく、その中にできる限り入り込まなければなりません。ですので、友の会の運営にはできる限り関わらせていただきたいと思います。変わらぬご厚誼を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。



新潟県立歴史博物館
The Niigata Prefectural Museum of History

★★★ レキハクから転退職される方、レキハクに異動・採用される方 ★★★

このたび、以下の方々が新潟県立歴史博物館から転退職されます。これまでのご尽力に感謝いたします。

副 館 長	反町 勉 (工業技術総合研究所次長として転任)
専門研究員	西田 泰民 (退 職)
経営企画課 課長代理	山本 哲也 (退 職)
経営企画課 主任研究員	菊地 康裕 (十日町市立上野小学校教頭として転任)
学 芸 課 職 員	遠山 典子 (退職)

新たに新潟県立歴史博物館に赴任されるのは、以下の方々です。よろしくお願いいたします。

副 館 長	山田 耕生 (新潟テクノから転任)
経営企画課 主任研究員	石井 寛二 (長岡市立信条小学校から転任)
学 芸 課 主任研究員	永瀬 史人 (採用)
学 芸 課 研 究 員	岩瀬 春奈 (採用)

2024 年度の予定から…展覧会日程

令和6年11月23日(土・祝)から令和7年1月13日(月・祝)まで、企画展示室の使用が可能となっています。

『マイ・コレクション・ワールド』の継続か、はたまた別の展覧会に取られるのか？

それは友の会次第？

皆さんの妙案をお待ちしています。

(新たな展示案などありましたら是非お寄せください、検討材料にいたします。)

『第20回マイ・コレクション・ワールド』のチラシで、これが最後かも…と何か匂わせるような書き方をしました。実はほとんど冗談のつもりでした。『マイ・コレクション・ワールド』は市民が作る博物館(展示)の好例として、世の中に自信をもって語れる存在です。それを簡単に終わらせるわけにいきません。

4月以降事務局体制が少なからず変わるものの、新担当には是非とも新たな友の会像を見出しつつ、これまでの伝統も守っていただければと思っています。新担当のもと、友の会活動全般が今後より良くなっていくと思いますし、期待をもって友の会活動にご参加いただければと思います。(事務局 T)

新潟県立歴史博物館友の会会報 No.25

2024年3月30日発行

【事務局】新潟県立歴史博物館 経営企画課内
〒940-2035

新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂 2247番2

TEL 0258-47-6135・6141 FAX 0258-47-6136

E-mail rekitomo2014@yahoo.co.jp